

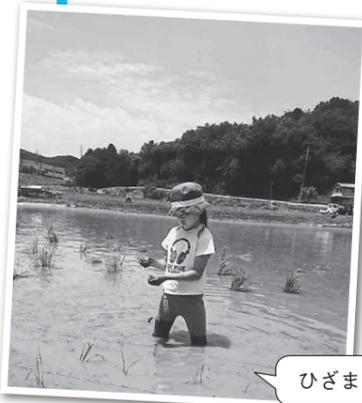


## 活動その2 農業体験

嵐山町在住の有機農法を実践している方と連携し、田植え体験イベントを実施しました。

平成29年6月10日に田植え体験、9月23日に稲刈り体験を行いました。また、田植え後に交流会を行い、参加者同士の懇親を深めることができました。

ひざまで入って田植えをしました。



## これまでの活動

スペースに限りがあるので、ほんの一部を紹介します！



### 活動その1 さくらまつり花火大会

平成29年4月1日に開催された、さくらまつりの花火大会オープニングイベントとして、水にぬらすと光るLEDを使用した水風船100個を子どもたちにプレゼントし、一緒に打ち上げのカウントダウンを行いました。



用意した水風船は飛ぶようになりませんでした！



### 活動その3 うどん打ち体験

平成29年7月25日と8月28日に、南部交流センターで、都内からの参加者を招いて、地元産の小麦「農林61号」を使用した、うどん打ち体験を行いました。

元職人の安藤淳之介さんによる指導のもと、うどんを完成させました。最後は、自分たちで作ったうどんを茹でて試食しました。



子どもたちも粉まみれになってうどんを打っていました。



## 活動その4 空き家古民家を探す

町内で空き家古民家を探しています。

- ①嵐山ライフを満喫
- ②知人友人を呼び嵐山町をどんどん紹介する。町内の協力者や企業を紹介し、つながりを増やす。
- ③拠点を中心に嵐山町のお店、宿泊施設、観光スポットなどを紹介する。
- ④各種の体験ツアーの企画をする。
- ⑤地元の方ともつながることができる。

そのために、多少古くて、周辺の環境も含めて「昭和の日本」を感じる家を探しました。数件探しましたが、条件が合う空き家がなかなか見つかりません。

諦めず、古民家を探しています！



## 活動その6 各種研修に参加

都内や東北地方などで開催される様々な地方創生関係の研修会に参加し、嵐山町をアピールしています。



## 活動その5 イルミネーション

11月末から12月の期間、太陽ホールディングス嵐山営業所併設のたいよう保育所隣接エリアで、太陽グリーンエネルギーと町おこしディレクターが共同企画したイルミネーションが行われました。点灯式の模様はテレビ埼玉で放映され、沢山の人の目を喜ばせました。

「動物たちと遊べる光の森」をイメージしたイルミネーションでした。



特集

一緒に

# みんなて「がっちゃんこ」

## 町おこしディレクター 活動中です！



### 町おこしディレクターとは

町では平成27年度に策定した嵐山町総合戦略のなかで『新たな産業の「風」を起こす』という目標をたて、嵐山町版「地域おこし協力隊」を配置することとしました。

嵐山町版の地域おこし協力隊とは、町の農業・観光・商業・工業などの地域資源をつなぎ合わせ、町内外からの交流を呼び起こし、新たな産業の創出を図ることを目的として活動するものです。名称を「町おこしディレクター」として、神岡裕介さんが平成29年1月23日から活動を行っており、活動期間は3年間となっています。

神岡さんが活動を始めて1年が経ちました。今回の特集では、この1年間でやったことや、今後の展望についてご紹介します。

既に町おこしディレクターだよりをご覧になっている方は、ご存知かとは思いますが、改めて自己紹介します。



町おこしディレクター 神岡裕介（35歳） 埼玉県所沢市出身、東京都東久留米在住。公園建設メーカー、建築コンサルタントなどの業務を通じて公共空間の整備・環境調査に携わっていました。

### こんにちは 神岡です

仕事の傍ら、ボランティアとして河川の保全・啓蒙活動を行い、川を利用したまちづくりや賑わい作りの企画を現在も行っていきます。

地元の川クラブというボランティアでの活動を通して「住民が地域に愛着を持つためには何が必要か」ということを意識してきました。以前から公共空間や自然環境の景観整備に関心があり、「公共」空間を活用して、多くの方が訪れ、地域の人と交流をしながら、「交響」しあい、稼ぐ力をつけて「好況」にして、持続可能な地域活性化の取り組みを行っていきたく考えています。



### これまでの活動

町の外からならではの視点を活かし、嵐山町の地域資源の調査や発掘を行い、地域の活性化につながるイベントを企画し、実施してきました。

また、各種団体や企業との協力関係を築き、コラボレーションしたイベントを行いました。

他の地域での交流会や研修会等にも参加し、他の地区の「地域おこし協力隊」やまちづくりを行っている方々との関係を深め、町のPR活動も行ってきました。

